10 ストレス外来における初診患者の受診状況（平成20年版）

金安 亨太[1)]・慶野鉄太郎[2)]
岡田奈緒子[3)]・山田 治[4)]・内田 訓[5)]
鈴木 康一[3)]・松田ひろし[6)]
立川メディカルセンター悠遊健康村病院[1)]
帝京大学医学部付属病院[2)]
立川メディカルセンター立川綜合病院[3)]
医療法人京友会京友会病院[4)]
富士心身リハビリテーション研究所付属病院[5)]
立川メディカルセンター柏崎厚生病院[6)]

立川綜合病院ストレス外来での診療動向について，これまでも当研究会において発表してきている．今回も平成20年における初診患者の動向についてご報告したい．

【方法】初回診察時における受診状況を前年までの状況と比較しながらまとめる．

【対象】2008年1月～12月と，2001年～2007年の初診患者の動向を比較する．

2006年まで，当科の初診患者数はおおむね右肩あがりに増加してきた（2001年389人→2006年594人）．しかし，2007年には男女合わせて前年から54人減少し（2006年594人→2007年540人），2008年にはさらに89人の減少が見られた（2007年540人→2008年451人）．

外来診療枠の減少などの，当外来を取り巻く状況に明らかな減少理由は見当たらない．それにも関わらず，日常診療の中で感じられるほどの初診患者数の変化が起こっている．

今後も継続的に減少し続けていくのか，それとも何かしらの均衡がとれ，次第に落ち着いていくのか．2年続けての減少で，その幅も増加していることからは，今後もこの傾向は続くのではないかと思われ，どのような原因が考えられるか検討する必要性が感じられた．

当日は当科を受診した初診患者について，受診経路や受診動機などを中心にその特徴を述べたいと思う．

11 3分診療を効あるものとするために

東島 啓二
田宮病院

ご承知のごとく3分診療とは［3時間待って診療は3分］と医療状況を揶揄する言葉である．我々もこの様な状況が決して良いとは思わないが，我々が働く現場はまさに，以前から今日までこの様な状況であった．現実は変えられない．従ってこの様な状況の中で如何に効果を上げていくか腐心せざるを得ない．私が行っているささやかな工夫を述べてみたい．

Ⅱ．特 別 講 演

職場のメンタルヘルス～社会復帰の How to ～

京都文教大学臨床心理学部 教授
神田東クリニック 院長
島 悟